

第2期帯広市産業振興ビジョン骨子について

1 計画策定の考え方

(1) 計画策定の目的

- 地域を取り巻く社会経済の環境変化を踏まえ、市と中小企業者等が協働で取り組む産業振興の基本方向や推進する施策などを明示する旨を記載。

(2) 計画の位置づけ

- 帯広市中小企業振興基本条例第4条に基づく中小企業振興のための指針。
- 産業振興に関する分野計画として第七期帯広市総合計画に即して策定。

(3) 計画期間

- 2020（令和2）年度から2029（令和11）年度までの10年間。
- 社会情勢の変化等により計画の推進に大きな影響が生じた場合には見直しを実施。

(4) 推進体制

- 地元企業、関係団体、金融機関などで構成される帯広市産業振興会議において、計画の進捗を管理。

2 取り組みの基本方針

(1) これまでの主な取り組み

- 第1期計画期間中の主な取り組みについて記載。

(2) 地域産業の現状と課題

- 国内市場の縮小や経済のグローバル化の進展による競争の激化、労働力不足など、地元企業を取り巻く環境の変化を記載。
- 実態調査・ヒアリング調査の結果、経済センサスなどを活用して、工業、商業、観光ごとに現状と課題を記載。

(3) 取り組みの基本的な方向性

- 課題やこれまでの取り組みを踏まえ、地域経済の活性化に向けて、以下の3つの基本的な方向性に基づき、産業振興の取り組みを進めていく旨を記載。
 - ・ 中小企業の経営基盤の強化
 - ・ 「ものづくり」産業の振興
 - ・ 集客交流産業の振興

3 基本的な方向性に基づく検討項目（想定）

(1) 中小企業の経営基盤の強化

- ・ 人材の育成・確保
 - ・ 事業承継などへの相談機能
 - ・ 商業・商店街振興
 - ・ 制度融資など資金調達等
 - ・ 起業・創業
- など

(2) 「ものづくり」産業の振興

- ・ 新商品・サービス等の開発
 - ・ IOT、AI等先進技術を活用した生産性向上
 - ・ 工業用地の確保、企業立地の促進
 - ・ 販路拡大
 - ・ 知財の活用
 - ・ 産業間連携
- など

(3) 集客交流産業の振興

- ・ アウトドアなど体験・滞在型観光
 - ・ 国内外に向けた観光プロモーション
 - ・ 十勝・帯広の暮らしに関する魅力発信
 - ・ 国内外の観光客の受入環境
 - ・ 空港など交通ネットワーク
 - ・ U I Jターン
- など

4 計画策定のスケジュール

区分	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
帯広市産業振興会議	計 画 骨 子		計 画 原 案				計 画 案
産業経済委員会(議会)		計 画 骨 子		計 画 原 案			計 画 案
パブリックコメント					計 画 原 案		